

令和 4 年 10 月 28 日

令和 4 年度共同利用採択者 各位

共同利用掛

### 誘導放射能計算書の作成方法の変更について

標記の件につきまして、**KUR 実験記録**や **KUR 照射使用記録**の **KWFS** 申請時に添付していただいていた誘導放射能計算書を、**Excel** ファイルを作成して **KUR 実験記録**等に添付する方法から **KWFS** 上で作成して **KUR 実験記録**等に関連付けする方法に今年度より変更いたしました。

これにより、作成した誘導放射能計算書を **KUR 実験記録**等に関連付けた際に、生成される研究対象核種情報が誘導放射能計算書から **KUR 実験記録**等の「予想される最大生成放射能・取扱予定量」に自動で入力されるようになりました。

なお、誘導放射能計算書のデータベースに含まれていない核種を生成し研究対象核種とする場合や、副次的な反応を記載したい場合などは別途説明資料を作成し、**KUR 実験記録**等の入力フォーム最下部の「添付ファイル」欄にて添付してください。この場合、「予想される最大生成放射能・取扱予定量」の入力は従来通り手入力が必要となります。

既に **KUR 実験記録**等申請をされている方にはご連絡が遅くなり、混乱させてしまい大変申し訳ありません。

**KWFS** の操作、各種フォームの入力に関するお問い合わせは、**KWFS** サポートチームまでご連絡ください。

**KWFS** サポートチーム : [kwfssupport@rri.kyoto-u.ac.jp](mailto:kwfssupport@rri.kyoto-u.ac.jp)

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

※本通知は、研究炉を利用した実験をする場合に必要な書類の提出に関するお知らせです。